



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 ユニデンホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6815 URL http://www.uniden.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 邦尚
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 金城 一樹 (TEL) 03-5543-2812
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,923	29.8	620	263.7	654	205.8	580	251.6
29年3月期第1四半期	3,021	△7.3	170	—	213	—	165	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 613百万円(—%) 29年3月期第1四半期 8百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	9.86	—
29年3月期第1四半期	2.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	35,416	27,967	78.3
29年3月期	35,543	27,648	77.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 27,718百万円 29年3月期 27,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当期の配当につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,400	21.5	890	63.8	880	58.5	730	51.3	12.40
通期	16,680	27.4	2,610	110.2	2,600	81.5	2,200	48.8	37.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	63,139,649株	29年3月期	63,139,649株
30年3月期1Q	4,312,362株	29年3月期	4,309,922株
30年3月期1Q	58,828,272株	29年3月期1Q	58,839,381株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、売上高および営業利益を重要な経営指標と位置付けており、エレクトロニクス事業においては、ドライブレコーダー、レーダーディテクター、車載用モニターの新機種などの新規製品を積極的に販売展開しております。また、前年度に引き続き、生産コストや販売費及び一般管理費の見直しを継続的に実施しております。不動産事業においては、不動産の売買を積極的に展開していく方針です。当社グループ全体では、前年度と比較して売上高および営業利益が大幅に増加しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,923百万円(前年同四半期比29.8%増)、営業利益620百万円(前年同四半期比263.7%増)、経常利益654百万円(前年同四半期比205.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益580百万円(前年同四半期比251.6%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

《エレクトロニクス事業》

当事業では、主に、無線通信・応用機器、デジタル家電機器、電話関連機器の製造販売を行ってまいりました。当事業の売上高は2,952百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。製品区分別の内訳は主に次のとおりであります。

〔無線通信・応用機器〕

当区分では、北米市場においてドライブレコーダーおよびCB無線機器の販売数量が好調に推移しました。また、オセアニア市場におけるUCB無線機器およびセキュリティカメラの販売数量が好調に推移しました。しかし、オセアニア市場のスクリーンラジオでは、前期において新規受注による販売増となった反動により、台数、売上ともに減少いたしました。当区分全体では売上台数22万台(前年同四半期比14.5%減)、売上高1,541百万円(同16.0%減)となりました。

〔デジタル家電機器〕

当区分では、国内市場での車載用モニター及び車載用チューナーの新規モデルの投入により、販売台数、販売金額がそれぞれ大幅に増加し、当区分全体では、売上台数1.8万台(前年同四半期比33.0%増)、売上高358百万円(同69.9%増)となりました。

〔電話関連機器〕

当区分では、全体的に市場規模の緩やかな縮小傾向があるものの、オセアニア市場において、主力製品であるコードレス電話の人気モデルが好調に推移したことから、当区分全体では売上台数17万台(前年同四半期比7.5%増)、売上高は686百万円(同8.6%増)となりました。

《不動産事業》

当事業では、前年度までに賃貸事業の収益を安定的に計上する体制を整えたため、当年度においては販売事業を積極的に推し進めました。当事業全体では、売上高997百万円(前年同四半期比338.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は18,013百万円(前期末比57百万円増)となりました。これは、主として現金及び預金が223百万円、繰延税金資産が205百万円、受取手形及び売掛金が78百万円、それぞれ増加し、販売用不動産が329百万円、原材料及び貯蔵品が103百万円、仕掛品が17百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は17,403百万円(同183百万円減)となりました。これは、投資その他の資産が140百万円、有形固定資産が35百万円、無形固定資産が8百万円、それぞれ減少したことによるものです。

この結果、資産合計は35,416百万円(同126百万円減)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は3,819百万円(前期末比275百万円減)となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が198百万円、未払費用が53百万円、未払法人税等が42百万円、賞与引当金が23百万円、1年内返済予定の長期借入金が10百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は3,629百万円(同170百万円減)となりました。

この結果、負債合計は7,449百万円(同445百万円減)となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は27,967百万円(前期末比318百万円増)となりました。これは、主として利益剰余金が580百万円、非支配株主持分が38百万円それぞれ増加し、資本剰余金が294百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,524	7,747
受取手形及び売掛金	3,091	3,169
商品及び製品	1,265	1,266
販売用不動産	4,446	4,116
仕掛品	214	197
原材料及び貯蔵品	816	712
繰延税金資産	60	265
その他	564	566
貸倒引当金	△26	△30
流動資産合計	17,956	18,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,401	2,368
機械装置及び運搬具（純額）	145	139
工具、器具及び備品（純額）	286	306
土地	13,059	13,059
建設仮勘定	78	61
有形固定資産合計	15,970	15,934
無形固定資産	244	235
投資その他の資産		
投資有価証券	692	690
その他	803	665
貸倒引当金	△123	△123
投資その他の資産合計	1,372	1,232
固定資産合計	17,587	17,403
資産合計	35,543	35,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,085	887
短期借入金	551	550
1年内返済予定の長期借入金	155	144
未払費用	1,055	1,001
未払法人税等	560	518
賞与引当金	97	73
役員賞与引当金	13	16
製品保証引当金	31	28
その他	544	598
流動負債合計	4,094	3,819
固定負債		
長期借入金	3,382	3,180
その他	417	448
固定負債合計	3,799	3,629
負債合計	7,894	7,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	29,145	28,851
利益剰余金	△1,709	△1,128
自己株式	△7,331	△7,332
株主資本合計	38,104	38,390
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10,666	△10,671
その他の包括利益累計額合計	△10,666	△10,671
非支配株主持分	210	249
純資産合計	27,648	27,967
負債純資産合計	35,543	35,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,021	3,923
売上原価	2,044	2,412
売上総利益	977	1,511
販売費及び一般管理費	806	890
営業利益	170	620
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
為替差益	107	46
持分法による投資利益	—	0
作業くず売却益	0	0
その他	1	1
営業外収益合計	110	49
営業外費用		
支払利息	3	5
デリバティブ評価損	59	9
寄付金	0	0
持分法による投資損失	2	—
その他	0	1
営業外費用合計	67	16
経常利益	213	654
特別利益		
和解による債務免除益	29	—
特別利益合計	29	—
税金等調整前四半期純利益	243	654
法人税、住民税及び事業税	66	70
法人税等調整額	12	△35
法人税等合計	78	35
四半期純利益	165	618
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	165	580

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	165	618
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△86	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△70	△2
その他の包括利益合計	△156	△5
四半期包括利益	8	613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8	574
非支配株主に係る四半期包括利益	—	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	エレクトロ ニクス事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,794	227	3,021	3,021	—	3,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,794	227	3,021	3,021	—	3,021
セグメント利益	78	91	170	170	—	170

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	エレクトロ ニクス事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,926	997	3,923	3,923	—	3,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	—	26	26	△26	—
計	2,952	997	3,950	3,950	△26	3,923
セグメント利益	432	188	620	620	—	620

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。